

施設概要

竣工：令和4年3月末日
設計監理：三弘・平田建築設計共同企業体
建築工事：株式会社新井組
所在地：兵庫県西宮市櫛塚町2-20
敷地面積：1,614.04 m²
延床面積：1,765.46 m²
構造階数：鉄骨造・地上4階（別途地下室あり）

完成までの経緯

平成27年度 本館の耐震診断を実施
28年8月 「西宮商工会館あり方検討特別委員会」を設置
30年3月 「西宮商工会館あり方」についての結論を得る
30年6月 「新西宮商工会館建設検討特別委員会」を設置
令和元年6月 「新西宮商工会館基本計画（案）」を策定
9月 「新西宮商工会館建設推進特別委員会」を設置
2年5月 基本設計完了
11月 実施設計完了
3年3月 既存建物の解体工事の着工
3年7月 新商工会館の建築工事の着工
4年3月 完成

旧西宮商工会館について



竣工：昭和41年3月末日
設計監理：村野・森建築事務所
建築工事：株式会社竹中工務店
所在地：西宮市櫛塚町2-20
建築面積：739.91 m²
延床面積：2,322.78 m²

コンクリート打放しの柱と梁に赤褐色のパネルをはめ込んだ外観を持ち、優雅な螺旋階段を本館に設置した旧会館は、日本現代建築に功績を残した建築家・村野藤吾氏が設計代表を務めました。阪神・淡路大震災により倒壊した旧別館（ホール・ピロティ）部分は、平成8年10月に会議所事務所や会議室等から成る別館として再建されました。



西宮商工会館 竣工のしおり

西宮商工会議所創立80周年を迎える記念すべき年に、多くの皆様のご理解とご協力を賜り、新たな活動拠点となる「西宮商工会館」が竣工しました。

昭和17年創立の会議所は戦中・戦後にかけて事務所を何度か移転した後、昭和41（1966）年に当地に旧商工会館を建設しました。平成7（1995）年の阪神・淡路大震災でホールとピロティ部分が倒壊するなど大きな被害を受けましたが、いち早く復興に着手し、翌8（1996）年に跡地に別館を建設しました。平成16（2004）年には、別館前に震災復興10年を記念して、勢いを盛んに奮い立つ「興起」の文字を刻んだ石碑を設置し、復興に取り組んできた気概と創造的な発展への願いを表しました。その後、西宮を光り輝く「光輝」へと昇華させるため「輝くひとづくり ものづくり ことづくり まちづくり」をスローガンに掲げ、現在に至るまでさまざまな挑戦を続けています。

これからも、新しい商工会館とともに、未来の扉を拓く商工会議所として、地域や商工業、会員事業所の発展のために、次代へたすきをつないでまいります。

令和4年4月

輝くひとづくり ものづくり ことづくり まちづくり



新しい商工会館の特徴

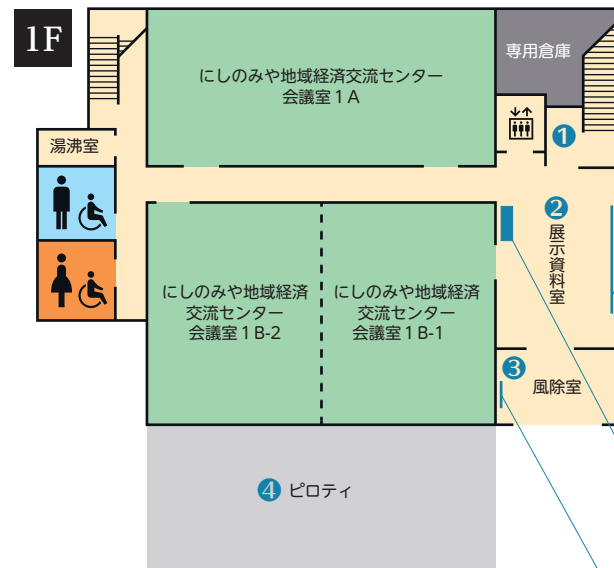
新しい商工会館は、基本コンセプトとして「想定される自然災害に対する備えを有するとともに、市内商工業者が集い交流すること、地域の人々との交流を推進すること、一層の産学連携を図ること」を掲げています。

このことの実現に向け、市民や商工業者が集い交流できる「にしのみや地域経済交流センター」を設け、地域のにぎわい創出につながる施設を目指すとともに、若者や女性、高齢者が起業・創業を実現していくための支援施設として「にしのみや起業家支援センター」を設け、ワンストップで切れ目のない支援により起業家の育成を図ります。

また新しい商工会館には、包括連携協定を締結している大手前大学、武庫川女子大学の学生のアイデアを基本設計に反映させるとともに、地元産素材の活用に加え、旧商工会館の記憶を次代に引き継ぐ取り組みも行っています。

多くの会員や来訪者が利用する日常的な活動・交流の場であるため、自然災害に対応するとともに感染症にも対応した施設として、来館者が安全・安心で快適に利用できることや SDGs(持続可能な開発目標) にも対応した施設として管理運営を実施してまいります。

フロアガイド



にしのみや地域経済交流センター

地域の多彩な活動を支援するとともに地域マルシェなどのイベントなどにも対応し、地域に開かれ、地域活動を支援する施設です。

①階段ホール

旧本館の螺旋階段で使用していたペンダントライトを再使用しました。柔らかい光が階段ホールに展示している旧会館の復元模型を包みます。

旧会館の承継

②展示資料室

展示用の棚として、酒樽と酒杓からヒントを得た飾り棚を設置しています。

学生デザイン採用

平成 18 年に開催した第 7 回洋菓子園遊会の実演作品である「西宮神社 福男選び」を展示しています。

旧会館の承継

③西宮商工会館の銘板（青銅製）

旧別館で使用していましたが、阪神・淡路大震災で倒壊した後、会議所で保管していた銘板を再使用しています。

旧会館の承継

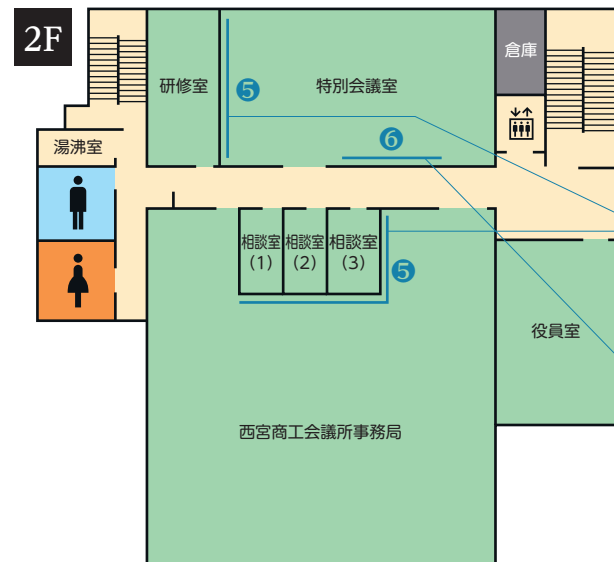


1F 展示資料室

④ピロティ

南部分には、村野藤吾氏が設計した旧本館の外壁デザインを継承した壁を設置し、ペランダ手すりを再使用しています。

旧会館の承継 学生デザイン採用



西宮商工会議所事務局

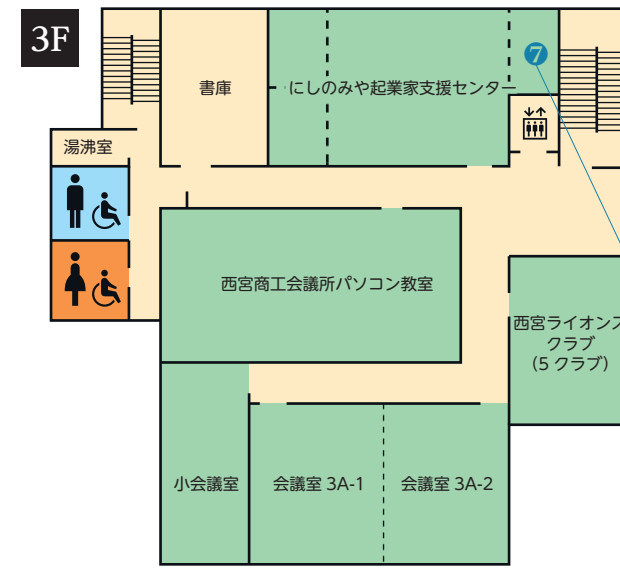
「輝くひとづくり ものづくり ことづくり まちづくり」の実現に向けて、会員事業所の皆様の経営相談に真摯に対応し、地域の活性化や丁寧な会員サービスの提供に努めます。皆様のご来所をお待ちしております。

⑤兵庫県産 CLT（集成材）の使用

兵庫県産木材の活用促進を図るため、特別会議室や会議所事務局受付、相談室に CLT(集成材) を使用しています。

⑥名塩和紙の使用

名塩和紙は400年前より名塩に伝わり、雁皮に地元で産出する泥を混ぜて漉くことが特徴です。特別会議室の壁紙として使用しています。



にしのみや起業家支援センター

幅広い層の起業家をサポートし、1人でも多くの西宮らしい起業家を輩出することを目的に、起業家支援のためのワンストップ支援機能をもつ施設です。



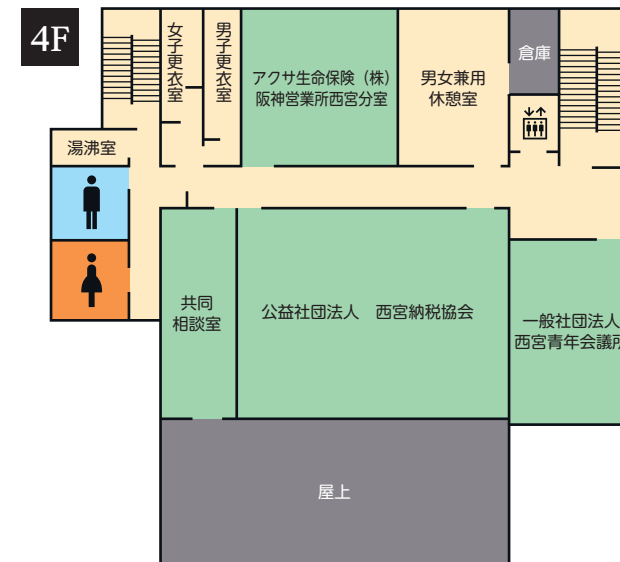
3F にしのみや起業家支援センター

⑦情報発信ルーム

起業家支援センターには、動画配信ができる先進のスタジオを用意しています。プロモーション動画の作成・編集や、セミナーなどのライブ配信、オンライン商談など、様々な用途でご活用ください。

西宮商工会議所パソコン教室

会議所が運営するパソコンの入門からホームページの作成活用講座など全68講座を開催し、パソコン初心者からベテランまで学べる教室として、中小企業の IT 人材の育成にご活用ください。



屋外

縦方向のアルミ製ルーバー

会館の東側及び南側の一部に、宮水の流れをイメージした縦方向のアルミ製ルーバーを設置しています。

学生デザイン採用

阪神・淡路大震災復興記念碑

平成16（2004）年に震災復興10年を記念し建立した記念碑「興起」を同じ場所に設置しています。

旧会館の承継